

# 第3回 病院管理者・医師のための医師事務作業補助者マネジメントセミナー ～医師事務作業補助者の活用と人財育成～ 活動報告



- 日時：H29年6月23日（金） 18時30分～20時00分
- 会場：北海道医師会館 8階A会議室（札幌市中央区大通西6丁目）
- 参加人数：56名

第3回となる今回のセミナーは、平日の夜からという時間帯にもかかわらず、道内各地よりたくさんのご参加をいただきました。世話人一同、心より感謝を申し上げます。

## 1. 「人財育成のための医師事務作業補助者のキャリアパス」

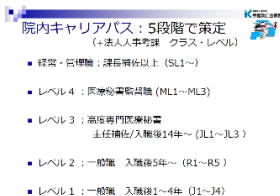
日本医師事務作業補助研究会 北海道支部 支部長 南木由美



開会では、はじめに南木支部長より、人財育成のツールとして自院で作成した院内キャリアパスの紹介と、導入後の現状・成果が報告されました。

キャリアアンカー（キャリアを選択する際の価値観・欲求）は人それぞれであり、多様性に応じたキャリアの道筋が必要であると述べられました。

また、研究会は医療の原動力となる医師事務作業補助者がひとりでも増えること、そういった病院がひとつでも増えることを願ってキャリアパスの普及を含めた活動を行っていくので、これからもご支援いただきたいとお話がありました。



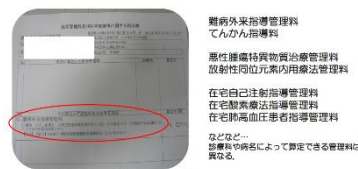
## 2. 「医師事務作業補助者導入の成果と人財育成」

座長 日本医師事務作業補助研究会 北海道支部顧問 成田吉明 先生  
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医療情報システム情報学 准教授  
鹿児島大学病院 医療情報部 部長 博士（医学） 宇都由美子 先生



多くの医療機関で課題となっている教育体制とその成果についてご講演いただきました。

診療録の代行入力を行うと共に医学管理料算定に対するカルテへの記載漏れをチェックし、病院経営に貢献しているとお話があり、「医師事務のあり方を考えてやっていきたい」「業務の取り組み、育成など全てについて参考になった」との感想が多くありました。



★医学管理料算定を判断する注意点★

- 管理料に該当する病名がついているか→病名が決められているものや、確定診断がないと算定できないものもある。
- 同時に算定できない管理料がないか→指示書にあがっていても、同時算定できないものもある。
- 算定回数、初診・退院日等の確認→算定できる日や、回数が決まっているものがある。

医学管理料についての知識と判断力が重要!!!

## 3. 「医師事務作業補助者の活用と人財育成」(パネルディスカッション)

新人教育、特に32時間の研修方法について関心が多く、院内研修での資料作成や研修の時間帯、院外研修の有用性、また経営改善に貢献する医師事務のキャリアアップの重要性について活発な意見交換がなされました。

座長 成田吉明 先生  
パネリスト 宇都由美子 先生  
南木由美 支部長



座長 成田吉明 先生